

平成22年第2回潟上市議会臨時会会議録

○開 会 平成22年8月3日 午前10:00

○閉 会 午前10:18

○出席議員(20名)

1 番 中 川 光 博	2 番 大 谷 貞 廣	3 番 児 玉 春 雄
4 番 藤 原 幸 作	5 番 菅 原 理 恵 子	6 番 澤 井 昭 二 郎
7 番 菅 原 久 和	8 番 伊 藤 栄 悦	9 番 戸 田 俊 樹
10 番 佐 藤 義 久	11 番 小 林 悟	12 番 岡 田 曙
13 番 佐 藤 昇	14 番 藤 原 典 男	15 番 西 村 武
16 番 鈴 木 斌 次 郎	17 番 堀 井 克 見	18 番 藤 原 幸 雄
19 番 佐々木 嘉 一	20 番 千 田 正 英	

○欠席議員(なし)

○説明のための出席者

市 長 石 川 光 男	副 市 長 鑑 利 行
教 育 長 肥 田 野 耕 二	総 務 部 長 山 口 義 光
会 計 管 理 者 佐 々 木 博 信	産 業 建 設 部 長 児 玉 俊 幸
水 道 局 長 菅 原 龍 太 郎	教 育 次 長 鈴 木 公 悦
市 民 生 活 部 長 小 林 健 一	福 祉 保 健 部 長 鈴 木 司
総 務 課 長 藤 原 貞 雄	企 画 政 策 課 長 幸 村 公 明
活 性 化 推 進 室 長 関 谷 良 広	財 政 課 長 川 上 護
産 業 課 長 伊 藤 清 孝	総 務 学 事 課 長 鎌 田 雅 樹
生 涯 学 習 課 長 菅 原 一	市 民 課 長 鈴 木 利 美
生 活 環 境 課 長 近 藤 進	社 会 福 祉 課 長 大 木 充
税 務 課 長 山 平 重 男	都 市 建 設 課 長 渡 部 智
農 業 委 員 会 事 務 局 長 根 一	選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局 長・ 監 査 委 員 会 事 務 局 長 三 浦 永 寿
追 分 出 張 所 長 三 浦 喜 博	幼 児 教 育 課 長 小 玉 隆

高齢福祉課長 伊藤 律子 健康推進課長 伊藤 正吉

○議会事務局職員出席者

議会事務局長 伊藤 正 議会事務局次長 門間 善一郎

平成22年第2回潟上市議会臨時会日程表（第1号）

平成22年8月3日（1日目）午前10時開会

会議並びに議事日程

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期の決定

日程第 3 行政報告（市長）

日程第 4 議案第53号 平成22年度潟上市一般会計補正予算（第2号）（案）に  
ついて

日程第 5 同意第 6号 潟上市豊川財産区管理委員の選任について



午前10時00分 開会

○議長（千田正英） おはようございます。

ただいまの出席議員は20名であります。定足数に達しておりますので、これより平成22年第2回潟上市議会臨時会を開催致します。

これより会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりです。

【日程第1、会議録署名議員の指名】

○議長（千田正英） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第80条の規定により、7番菅原久和議員、8番伊藤栄悦議員の2名を指名致します。

【日程第2、会議の決定】

○議長（千田正英） 日程第2、会期の決定についてを議題と致します。

お諮りします。本臨時会の会期は、本日の議会運営委員会において審議の結果、本日1日としたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（千田正英） 異議なしと認めます。よって、会期は本日1日間と決定致しました。

【日程第3、行政報告】

○議長（千田正英） 日程第3、市長より行政報告がありますので、これを許します。石川市長。

○市長（石川光男） 皆さん、おはようございます。

本日ここに、平成22年第2回臨時会を開会しましたところ、議員各位には、ご多忙のところご出席を賜り誠にありがとうございました。

提出議案の審議に先立ち、諸報告と提出議案の概要について申し上げます。

はじめに、大雨による本市の被害状況とその対応について申し上げます。

梅雨前線を伴った低気圧の影響で、7月10日午前9時26分、潟上市に大雨洪水警報が発令され、午前11時、豊川槻木地区に設置している秋田県水位観測地点の水位が警戒水位を超えたことから、同時刻に潟上市災害対策準備体制を取り、産業建設部など関係機関によるパトロールを行うと同時に、河川の氾濫に備えて土のうを準備し、警戒にあたりました。

幸い、住宅や県道・市道への被害はありませんでしたが、上虻川地区では豊川が氾濫

し、越安周辺の水田約4ヘクタールが冠水しました。今後の肥培管理で持ち直しが可能と思われませんが、幼穂形成期を迎えている時期であったこともあり、収穫量への影響が懸念されるところであります。

また、昭和豊川の大沢林道が豊川の増水により幅約5メートルにわたり侵食され、通行不能となりました。被災地の上流では現在間伐作業が実施され、資材や間伐材の搬出が行われていることから、早急な復旧が必要となっております。市では、河川管理者である県と7月14日に協議を行った結果、改修工事は県事業で行うことが確認されたものの、施工にあたっては国の査定による災害認定を受けてからの発注となり、工事に着手するのは早くても11月になるとの回答を得ております。

このため市では、林道利用者の不自由を解消すべく、予備費を充用し、幅員4メートルの仮設道路を設置する応急工事により対応してまいります。議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

また、7月29日にも寒冷前線を伴った低気圧の影響で、午後4時12分に大雨洪水警報が発令されました。市では同様の対策を取り、警戒にあたりましたが、被害は確認されなかったことをご報告致します。

次に、潟上市共通商品券について申し上げます。

潟上市商工会が事業主体となり、昨年度に引き続きプレミアム付き共通商品券を1万セット（総額1億1,000万円）を、7月1日から市内10か所で販売したところ、7月27日に完売致しました。

昨年度の2倍の発行額にもかかわらず短期間で完売したことで、地元消費の拡大や小売店等の販売促進、地域活性化につながるものと期待しております。また、販売にご協力いただいた市内店舗と取扱店の皆様に対して、心から感謝とお礼を申し上げます。

次に、児童生徒のスポーツ活動についてご報告致します。

第59回秋田県中学校総合体育大会において、天王中学校剣道男子団体が2年連続11度目の優勝、天王南中学校柔道男子団体が12年ぶり2度目の優勝という栄冠に輝き、全国大会に出場致します。この後、全国大会に出場するための経費については既存の予算で対応するほか、備品等の不足分については予備費の充用を検討しております。

次に、提出議案の一般会計補正予算案について申し上げます。

住宅リフォーム補助事業は、市民の居住環境の向上と住宅関連産業を主とした地域経済の活性化を促進するため、市民が居住する市内の住宅を市内の建設業者等が施工する

住宅リフォーム工事を対象に市単独の補助を行うものです。

これまで当初予算で1,800万円を予算措置しておりましたが、市民の反響が大きく、6月定例会においても1,800万円の補正予算を計上致しました。しかし、受付開始から4か月を過ぎようとしている現在においても市民からの問い合わせや申し込みが多く寄せられ、リフォーム補助金に対する市民の関心の高さは事業開始時からの勢いを維持しております。

7月31日現在、326戸、4,216万円の補助申請があり、工事費の総額は約5億6,860万円と地域経済への波及効果は大きく、有効な景気対策となっております。

なお、この予想をはるかに上回った要因については、県が実施している住宅リフォーム緊急支援事業とあわせて補助を受けられることが最大のメリットになっていると考えております。

県においては事業の年度内継続のため、今後10億円の補正予算を予定しており、この事業の利用者はさらに増加することが十分に予想されることや、経済波及効果からして本市においても事業を継続すべきと判断し、本臨時会に補正予算を計上したものであり、議員各位のご理解とご協力をお願いするものであります。

次に、豊川財産区管理委員の選任について申し上げます。

このたび豊川財産区管理委員に欠員が生じたので、委員の選任についての案件を提出しております。

以上、関係議案の適切なるご決定を賜りますようお願い申し上げ、行政報告と致します。

○議長（千田正英） これで市長の行政報告を終わります。

【日程第4、議案第53号 平成22年度潟上市一般会計補正予算（第2号）（案）について】

○議長（千田正英） 日程第4、議案第53号、平成22年度潟上市一般会計補正予算（第2号）（案）についてを議題とします。

議案の朗読を省略します。

本案について当局より提案理由の説明を求めます。山口総務部長。

○総務部長（山口義光） おはようございます。

それでは、第2回潟上市議会臨時会提出議案の1ページめをお願い致します。

議案第53号、平成22年度潟上市一般会計補正予算（第2号）（案）については、別冊

のとおりであります。

平成22年8月3日提出 潟上市長 石川光男

別冊の平成22年度潟上市一般会計補正予算（案）（第2号）をお願い致します。

このたびは歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6,000万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ140億367万6,000円とするものでございます。

4 ページめをお願い致します。

歳入の18款繰越金は、補正前の額2億2,877万1,000円に6,000万円を追加し2億8,877万1,000円とするもので、前年度繰越金でございます。

歳出の8款土木費5項住宅費1目建築住宅総務費は、補正前の額3,630万円に6,000万円を追加し9,630万円とするものでございます。

内容は市長の行政報告にもありましたとおり、住宅リフォーム補助金による住宅リフォーム申請が4月当初から各月ほとんど変わらない上昇率、1日当たり平均4.02件と推移しておりまして、7月31日現在326件、申請額で4,216万円、市内業者130、全体の事業費が5億6,859万7,192円となっていることから、平成22年度末までに想定される予算額として6,000万円の補正をお願いするものでございます。

なお、1件当たりの平均補助額につきましては、これまでの実績から約13万円とし、総件数については740戸を想定しております。

これにより、本市における事業効果は12億円から13億円と推定されているところでございます。

以上でございます。宜しくお願い致します。

○議長（千田正英） これより議案第53号について質疑を行います。質疑ありませんか。18番。

○18番（藤原幸雄） 私から1点お伺いを致します。

私はこの件につきましては基本的に大賛成でございます。先ほど市長の行政報告にもございましたように、6月議会では1,800万円の補正をしております。このことによりまして、先ほど行政報告にありましたように5億6,000万円ぐらいのいわゆる経済効果があったということで、商工会関係者あるいは市民からも大変喜ばれておりますが、平成22年度に、仮定ではなかなか答えられないと思いますが、また、かなりの要望者が出た場合に同じいわゆる年度内にまた補正をする用意があるのか、そこら辺の見通し等についてお伺いします。



○議長（千田正英） 石川市長。

○市長（石川光男） 18番さんの藤原議員の質問にお答えします。

この後の補正見込みはどうかということですが、今、先ほど県でも約10億円の補正をするということで、基本的には私はこの事件については県と歩調を合わせるという感じです。来年の話になると鬼に笑われますが、県が来年どうするかということについてまだ決定していません。ですから私は、県がストップするとやはり市もストップせざるを得ないかと。というのは、県が20万円、市が20万円、このセットで相当人気があるということですから。ただし、この後、県は年度内までやるということですから、これはやります。その後については県の対応を見ながら考えたいと思っています。

○議長（千田正英） 18番、よろしいですか。

○18番（藤原幸雄） はい。

○議長（千田正英） ほかにありませんか。19番佐々木議員。

○19番（佐々木嘉一） 住宅リフォーム事業につきましては、現在の経済が低迷している中で大変有効な事業であるというふうなことについて私も同感でございます。リフォームと申しましてもいろいろあると思いますが、住宅の場合、例えば塗装から内装、それぞれいろいろないわゆるリフォームのやり方があると思いますが、私の方からは今1点ばかり、下水道のいわゆる水洗化による改修と、それに対する融資事業もありますので、それらとの関係についてどれぐらいの件数があるのか。その下水道の整備率もいわゆる影響しますので、その点はどれぐらいのものかなということでお伺いしたいと思います。

○議長（千田正英） 石川市長。

○市長（石川光男） 19番さんの質問にお答えします。

下水道の件数はどのくらいかということですが、52件、全体の16.0%。ちなみに1位は建築の93件。1位2つあります。塗装と建築の93件。次が下水道の52件。板金の44件。建具の8件とか太陽光5件ということになってます。

○議長（千田正英） 19番。

○19番（佐々木嘉一） ちょっと景気に水を差すような話になるかもしれませんが、実はやはり公費を使っていると。いずれそういうことで景気対策として、あるいは雇用対策として有効だわけですが、このリフォーム、塗装とか内装の場合はわかりませんが、大がかりな改装、改築の場合、税務調査でそれを補足するものでしょうか。固定

資産の、いわゆる家屋調査ですね、そういうものを補足して税務調査で言ってみれば改築分を評価すると、そういうふうな作業は考えてますか。確認申請じゃなくて、いわゆる税務調査の家屋調査をですね。

○議長（千田正英） 山平税務課長。

○税務課長（山平重男） 佐々木議員の質問にお答え致します。

住宅の改築家屋調査につきましては、一応面積の増加部分についてはある程度の家屋調査においてしなければならないというふうなことになってますけども、まず本来であれば、今の実情から申しまして面積が伴わない改築部分については家屋調査はしておりません。

以上です。

○議長（千田正英） 19番、よろしいですか。

○19番（佐々木嘉一） はい。

○議長（千田正英） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（千田正英） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論ありますか。

（「なし」の声あり）

○議長（千田正英） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これより議案第53号を採決致します。本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（千田正英） 起立全員です。したがって、議案第53号は原案のとおり可決されました。

**【日程第5、同意第6号 潟上市豊川財産区管理委員の選任について】**

○議長（千田正英） 日程第5、同意第6号、潟上市豊川財産区管理委員の選任についてを議題とします。

議案の朗読を省略します。

同意第6号について提案者より提案理由の説明を求めます。石川市長。

○市長（石川光男） 同意第6号、潟上市豊川財産区管理委員の選任について。

下記の者を潟上市豊川財産区管理委員に選任したいので、潟上市豊川財産区管理会条

例第3条の規定により、議会の同意を求めるものでございます。

記

住 所 潟上市昭和豊川竜毛字中沖15番地1

氏 名 澤井金一郎

生年月日 昭和21年7月4日

平成22年8月3日提出 潟上市長 石川光男

提案理由 潟上市豊川財産区管理委員の川上勝男氏が平成22年6月9日死亡により欠員が生じたので、潟上市豊川財産区管理会条例第3条の規定により、議会の同意を得て委員を選任しなければならないものである。これが提案理由であります。

委員の選任については、欠員になった竜毛・田屋地区の財産区分収林関係者の中から7月15日開催の豊川財産区管理会の意見を聞きながら今回選任するものであります。どうか宜しくお願いします。

○議長（千田正英） これより同意第6号について質疑を行います。質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（千田正英） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これより同意第6号を採決致します。本件は、これに同意することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（千田正英） 起立全員です。したがって、同意第6号は同意することに決定しました。

以上で、本日の日程は全部終了しました。

これで第2回潟上市議会臨時会を閉会します。

どうもお疲れさまでした。

---

午前10時18分 閉会

署 名

上記会議の次第を記載し、これに相違ないことを証明するためここに署名する。

平成 年 月 日

潟上市議会議長 千 田 正 英

〃 署名議員 菅 原 久 和

〃 署名議員 伊 藤 栄 悦